



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月6日

上場会社名 株式会社よみうりランド 上場取引所 東  
 コード番号 9671 URL http://www.yomiuriland.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 美邦  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理担当 (氏名) 町田 茂樹 (TEL) 044-966-1134  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	15,518	1.4	1,654	22.4	1,912	21.6	1,272	△36.7
2018年3月期第3四半期	15,301	△2.9	1,350	△7.2	1,572	△20.5	2,010	—

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 247百万円(△89.6%) 2018年3月期第3四半期 2,365百万円(148.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	165.57	—
2018年3月期第3四半期	261.48	—

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	66,031	27,761	42.0
2018年3月期	68,549	27,900	40.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 27,761百万円 2018年3月期 27,900百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	2.50	—	25.00	—
2019年3月期	—	25.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。2018年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2018年3月期の1株当たり年間配当金は50円となります。

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,100	0.9	2,240	△3.3	2,470	△3.8	1,650	△37.1	214.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	8,352,202株	2018年3月期	8,352,202株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	665,316株	2018年3月期	664,893株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	7,687,105株	2018年3月期3Q	7,688,254株

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢や天候等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、地方競馬の勝馬投票券の購入額に相当する売上高が好調に推移したことや、夏季のプールWAIが開業以来最高の入場者を記録したことなどによる増収によって、売上高は155億1千8百万円(前年同四半期比1.4%増)となりました。

増収に加え、売上原価は減価償却費の減少などで減少し、営業利益は16億5千4百万円(同22.4%増)となり、経常利益は19億1千2百万円(同21.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億7千2百万円と、老人保健施設と特別養護老人ホームの敷地売却による特別利益があった前年同四半期と比べ36.7%減となりました。

セグメント(セグメント間の内部売上高又は振替高を含む)の業績は、以下のとおりであります。

#### <総合レジャー事業>

##### (公営競技部門)

公営競技部門は、川崎競馬場、船橋競馬場とも勝馬投票券の購入額に相当する売上高が増加したことなどにより、増収となりました。

##### (ゴルフ部門)

ゴルフ部門は、前年7月に乗用カートの運用を開始した東京よみうりカントリークラブの好調に加え、よみうりゴルフ倶楽部、静岡よみうりカントリークラブ、千葉よみうりカントリークラブを合わせた全場において秋季の集客が前年を上回ったことなどにより、増収となりました。

##### (遊園地部門)

遊園地部門は、遊戯機を中心とした遊園地エリアは、猛暑によって夏季の入場者が減少したものの、10月から開催しているイルミネーションイベント「ジュエルミネーション」開始後は昨年を上回る入場者数となっていることと、夏季のプールWAIが開業以来最高の入場者を記録したことなどにより、増収となりました。

##### (販売部門)

販売部門は、プールWAIの入場者増や、イルミネーションイベント「ジュエルミネーション」の入園者増による飲食物販の売り上げの好調を受け、増収となりました。

以上の結果、総合レジャー事業全体の売上高は141億9千3百万円(前年同四半期比3.1%増)、営業利益は22億6千1百万円(同18.9%増)となりました。

#### <不動産事業>

不動産事業は、静岡よみうりカントリークラブに隣接した販売用宅地の分譲が前年度で終了したことにより、売上高は8億8千9百万円(前年同四半期比12.1%減)、営業利益は5億9千8百万円(同6.4%減)となりました。

#### <サポートサービス事業>

サポートサービス事業は、売上高は外部顧客の受注工事の減少に伴い23億3千5百万円(前年同四半期比3.8%減)、営業利益は一般管理費の増加などにより1億3千万円(同13.7%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、660億3千1百万円と前年度末に比べ25億1千8百万円(3.7%)減少しました。

流動資産は74億9千8百万円と前年度末に比べ4億5千7百万円(5.7%)減少しました。これは、現金及び預金が1億7千5百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が7億4千万円減少したことが主な要因です。

固定資産は585億3千2百万円と前年度末に比べ20億6千1百万円(3.4%)減少しました。これは、減価償却等により有形固定資産が4億9千2百万円減少したことや、保有株式の時価評価額の減少等により投資有価証券が14億7千7百万円減少したことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、382億6千9百万円と前年度末に比べ23億7千9百万円(5.9%)減少しました。

流動負債は60億5千7百万円と前年度末に比べ1億6千9百万円(2.7%)減少しました。これは、未払法人税等が5億6千万円、賞与引当金が9千7百万円減少したものの、仮受金の増加等により流動負債の「その他」が5億4千7百万円増加したことが主な要因です。

固定負債は322億1千2百万円と前年度末に比べ22億1千万円(6.4%)減少しました。これは、長期借入金が15億7千7百万円、繰延税金負債が4億9千4百万円減少したことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、277億6千1百万円と前年度末に比べ1億3千9百万円(0.5%)減少しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が8億8千8百万円増加したものの、保有株式の時価評価額の減少等によりその他有価証券評価差額金が10億2千5百万円減少したことが主な要因です。

この結果、自己資本比率は前年度末の40.7%から42.0%に増加しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期の業績予想につきましては、おおむね計画通りに推移するものと見込んでいるため、2018年5月11日発表の数値から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,621,336	5,796,531
受取手形及び売掛金	2,037,792	1,297,009
たな卸資産	73,138	112,705
その他	224,335	292,974
貸倒引当金	△413	△402
流動資産合計	7,956,189	7,498,817
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,333,623	26,565,343
土地	16,231,484	16,236,542
建設仮勘定	19,159	880,434
その他(純額)	4,203,480	3,613,030
有形固定資産合計	47,787,748	47,295,350
無形固定資産		
その他	61,728	67,151
無形固定資産合計	61,728	67,151
投資その他の資産		
投資有価証券	12,312,504	10,834,616
繰延税金資産	210,827	202,032
その他	220,829	133,196
投資その他の資産合計	12,744,161	11,169,845
固定資産合計	60,593,638	58,532,348
資産合計	68,549,828	66,031,165

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	640,269	580,423
短期借入金	1,070,000	1,070,000
1年内返済予定の長期借入金	2,103,276	2,103,276
未払法人税等	818,293	258,273
賞与引当金	131,318	34,009
その他	1,463,525	2,011,280
流動負債合計	6,226,683	6,057,263
固定負債		
長期借入金	6,651,488	5,074,031
繰延税金負債	2,379,671	1,885,351
退職給付に係る負債	520,072	609,785
長期預り金	24,307,975	24,131,520
その他	563,599	512,022
固定負債合計	34,422,806	32,212,711
負債合計	40,649,490	38,269,974
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,053,030	6,053,030
資本剰余金	4,730,658	4,730,658
利益剰余金	15,143,508	16,031,871
自己株式	△2,283,407	△2,285,322
株主資本合計	23,643,790	24,530,238
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,259,893	3,234,245
繰延ヘッジ損益	△3,345	△3,292
その他の包括利益累計額合計	4,256,547	3,230,952
純資産合計	27,900,337	27,761,191
負債純資産合計	68,549,828	66,031,165

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	15,301,439	15,518,606
売上原価	12,499,032	12,394,612
売上総利益	2,802,407	3,123,993
販売費及び一般管理費	1,451,419	1,469,840
営業利益	1,350,988	1,654,152
営業外収益		
受取配当金	218,477	214,786
その他	40,715	73,674
営業外収益合計	259,193	288,461
営業外費用		
支払利息	34,634	27,781
その他	3,224	2,744
営業外費用合計	37,859	30,525
経常利益	1,572,322	1,912,088
特別利益		
固定資産売却益	1,454,785	—
工事負担金等受入額	—	41,666
特別利益合計	1,454,785	41,666
特別損失		
固定資産除却損	140,702	121,143
災害による損失	—	23,717
特別損失合計	140,702	144,860
税金等調整前四半期純利益	2,886,405	1,808,894
法人税、住民税及び事業税	928,712	569,482
法人税等調整額	△52,653	△33,309
法人税等合計	876,059	536,173
四半期純利益	2,010,345	1,272,721
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,010,345	1,272,721

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	2,010,345	1,272,721
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	355,634	△1,025,647
繰延ヘッジ損益	△46	53
その他の包括利益合計	355,587	△1,025,594
四半期包括利益	2,365,933	247,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,365,933	247,126
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジヤ ー事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,757,437	1,008,327	535,675	15,301,439	—	15,301,439
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,474	2,950	1,892,521	1,899,946	△1,899,946	—
計	13,761,912	1,011,277	2,428,197	17,201,386	△1,899,946	15,301,439
セグメント利益	1,901,760	639,163	151,636	2,692,560	△1,341,572	1,350,988

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,341,572千円には、セグメント間取引消去△28,250千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,313,321千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	総合レジヤ ー事業	不動産事業	サポート サービス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,184,826	886,178	447,602	15,518,606	—	15,518,606
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,429	3,150	1,888,338	1,899,917	△1,899,917	—
計	14,193,255	889,328	2,335,940	17,418,523	△1,899,917	15,518,606
セグメント利益	2,261,182	598,363	130,920	2,990,466	△1,336,313	1,654,152

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,336,313千円には、セグメント間取引消去△16,305千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,320,008千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。